

第 25 回滋賀県障害者技能競技大会 製品パッキング競技課題

競技変更点及び留意事項について

- ① 競技時間を以下のとおり変更します。(課題の量は変わりません)

課題 1 25 分→20 分

課題 2 50 分→45 分

- ② 早期終了による申告及び加点の廃止について

この競技の課題を工場等より出荷する商品と仮定し、お客様にお届けできる品質の商品を作成する必要があるという観点から、制限時間内に完成した成果物の出来栄を採点します。早くできた場合の加点はないため、早く作業を終了できたとしても手を挙げるといった申告は必要ありません。規定された数量が時間内にできた場合は、競技時間終了まで見直しをする等し、自席で待つようにしましょう。

- ③ 作業台の上や周りは整理整頓するようにしましょう。

1. 課題

競技課題1 緩衝材の組立・結束【3束(1束:緩衝材 A 5 個、緩衝材 B 5 個)／20 分】

競技課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包【3梱包(3箱)／45 分】

※ 競技課題1の緩衝材(完成品)は、競技課題2で使用します。

※ 競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となります。不要なバリやくず取り作業が必要となります。

2. 実施内容及び実施手順

(1) 注意事項・競技の説明の後、競技を始めます(練習はありません。)

(2) 各競技課題の手順は、5 ページ以降のとおりです。

※ 折り方や手順は一例です。他の折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ、審査減点対象にはなりません。

3. 注意点

競技の際は、段ボールの端で手を切る恐れがあるため、必ず手袋を着用すること。

※ 手袋は各自で準備すること(両方の手を用意)。

4. 競技の流れ

※ 競技当日、練習は行いません。採点中は選手の方は休憩となります。

全体説明（5 分）

↓

競技説明と準備（5 分）

↓

競技課題1（20 分）

↓

競技課題1の採点（20～30 分）

↓

競技説明と準備（5 分）

↓

競技課題2（45 分）

↓

競技終了

↓

解散

5. 競技審査のポイント

【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材の向きは正しいか。
 - ※○・□穴の向きが外側になっているか。
 - ※端の緩衝材が向かい合わせになっているか。
 - ※○・□穴が 5 個ずつ混在せずに同一方向に揃えているか。
- ③ 正しく結束されているか。
 - ※結びの端から端まで 8 cm以内の結び目で、容易に解くことができる結び方か。
 - ※緩衝材の端から 10 cm以内で、緩衝材の角で結束されているか。
 - ※紐を持ち上げたとき、紐と緩衝材の間隔が 5 cm以内か。
- ④ 外観にシワ・やぶれ・汚れ・凹み などがいないか。
- ⑤ 整理整頓ができていないか。

【競技課題1の留意事項について】

- ① 制限時間内に完成した成果物のみ採点します。

【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題どおりか。
 - ※緩衝材の○・□穴の向きが外側に設置されているか。
 - ※緩衝材A・Bそれぞれ2個ずつ設置されているか。
 - ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか。
 - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか。
 - ※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか。
- ③ クラフトテープの止め方はきれいか。課題どおりか。
 - ※クラフトテープの止め方の採点対象は底部のみとする。
 - 上部を止めても減点とはしないが、底部の仕上がりのみ採点する。
- ④ 外観にシワ・やぶれ・汚れ・凹み などがいないか。
- ⑤ 整理整頓ができているか。

【競技課題2の留意事項について】

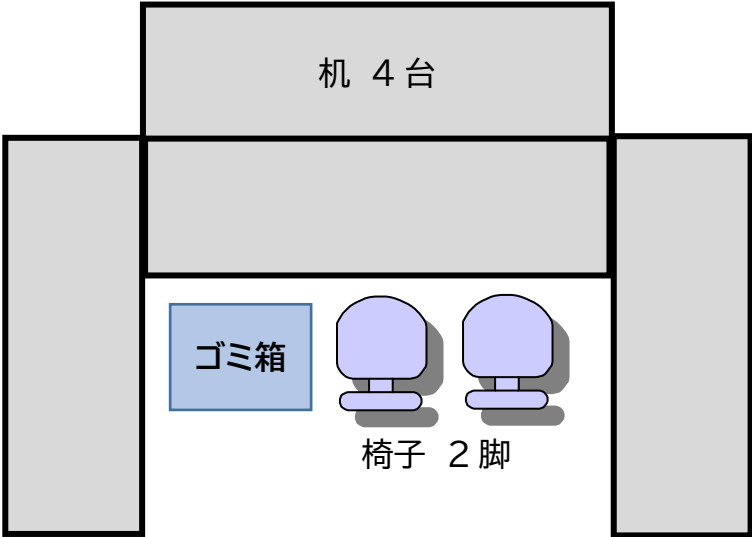
- ① 制限時間内に完成した成果物のみ採点します。
- ② 課題1で作成した緩衝材を使用しますが、時間内に緩衝材の組み立てが終わらず、課題2で使用する緩衝材が不足する場合は課題2の中で組み立てて使用してください。ただし、課題 2 の時間の中で組み立てた緩衝材の採点はしません。

6. 選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
手袋	2	双	破れた場合を考えて、予備も持参すること。
作業着	1	着	作業着又は運動着が望ましい。スカートやフリルがついているもの、短パンなど、作業に適さない服装は避けること。
作業靴	1	足	競技会場は土足で入場できるが、スリッパやサンダルは作業がしづらくなるため不可。
飲料	必要量		適宜、水分補給をし、熱中症対策などを行うこと。

7. 競技レイアウト

- ・机は 4 台使用し、コの字に設置する。作業で出たゴミは適宜ゴミ箱に入れる。
- ・材料の置き位置と作業エリアは自由。作業姿勢は自分の机から離れなければ、自由に行ってよい。

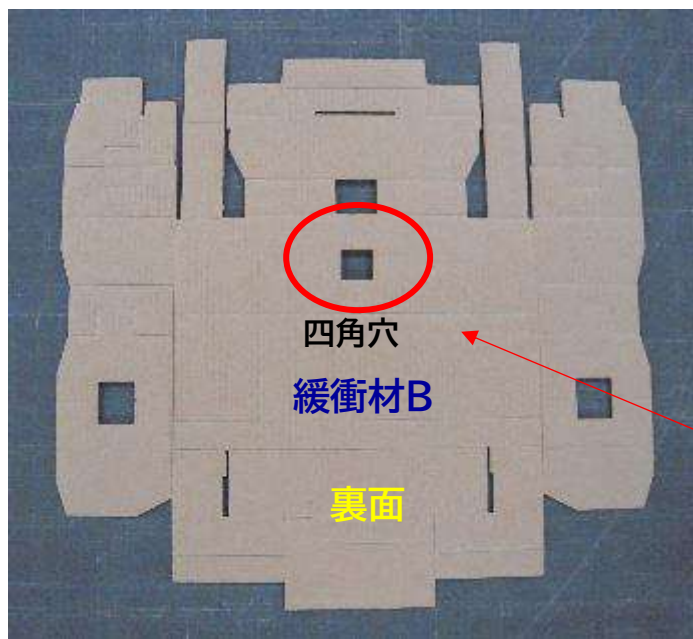


8. 会場に準備されているもの(選手1人当たりの支給材料)

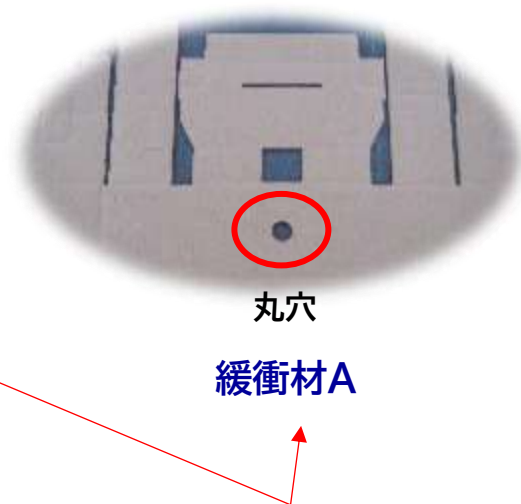
	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	3	枚	
	小箱	12	枚	
	中箱	12	枚	
	化粧箱 身	12	枚	
	化粧箱 蓋	12	枚	
	緩衝材 A	15	枚	○穴
	緩衝材 B	15	枚	□穴
資材	結束紐	1	巻	
	くちばし型カッター	1	本	
	クラフトテープ	1	巻	テープカッター付き
	はさみ	1	個	
	ゴミ箱	1	個	1 人 1 個 段ボール製(内寸 W650×D450×H580)

【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

緩衝材 展開図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります



※緩衝材は2種類あります。

緩衝材 完成図



組立完成図

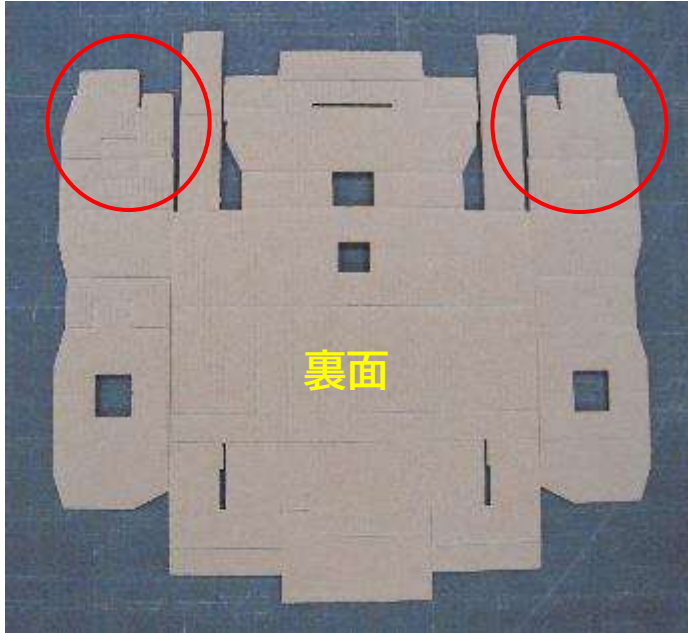


結束完成図

1. 緩衝材は2種類ですが、基本的な折り方は共通です。

全体の注意として、折り目をよくつけてから折りたたむようにしましょう。

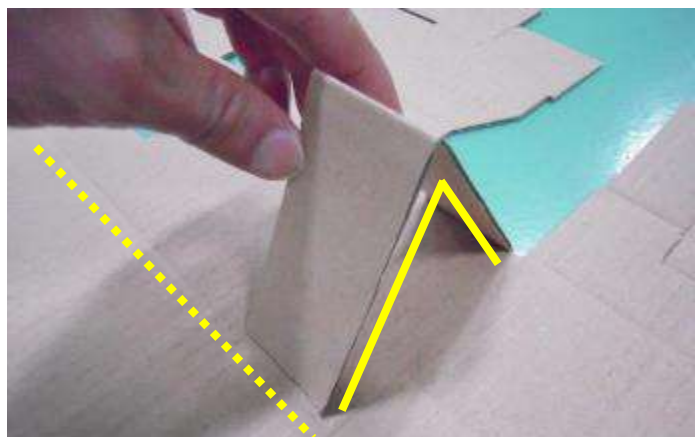
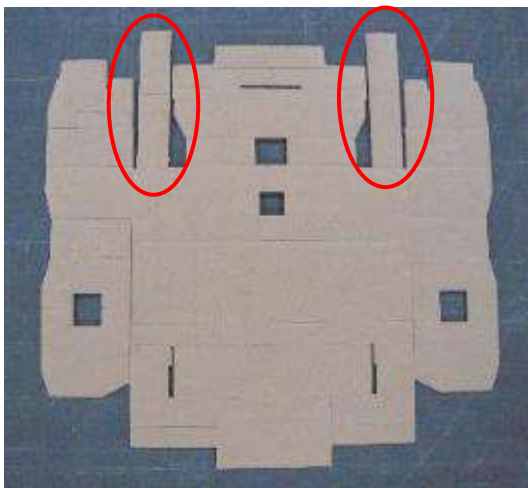
(写真は緩衝材 B) 緩衝材の裏面を上にして折ります。最初に○印の箇所から折ります。



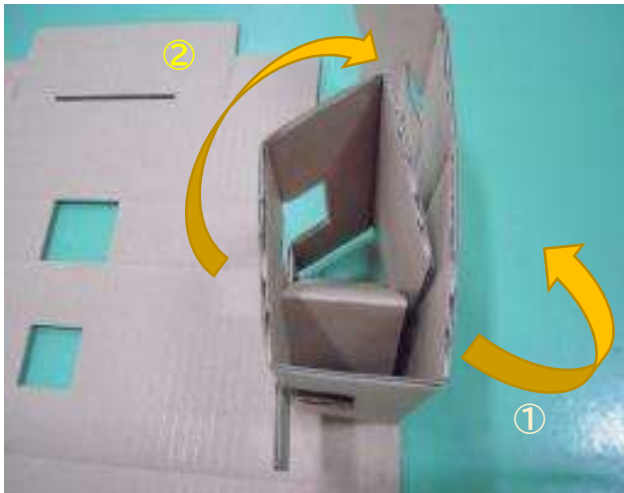
2. 本体の袖部分2か所に折りぐせを付ける。



3. ○印の部分を点線部分の罫線に合わせ折り込み、三角をつくる。



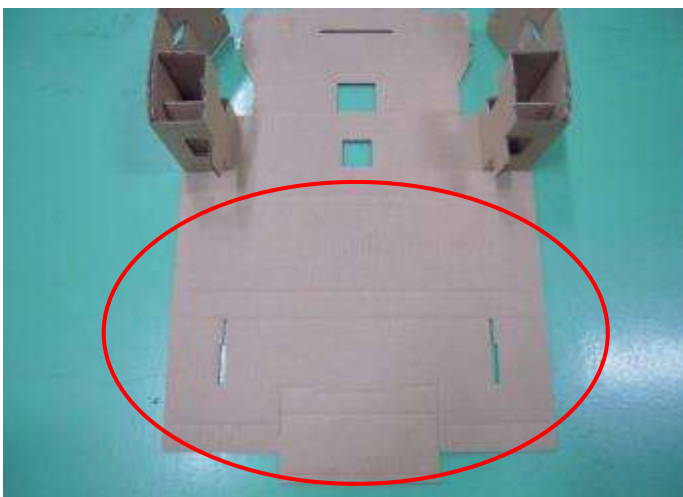
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



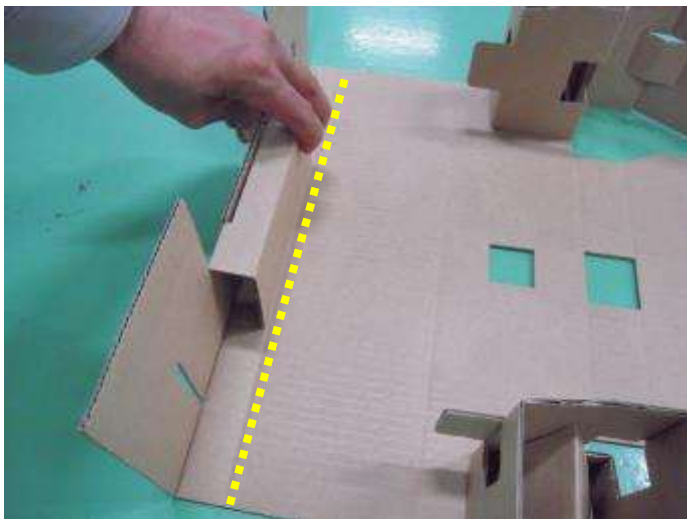
注意するポイント

巻き込む際に折り方が足りないと左の写真のように歪んでしまうので、よく折り目を付けてから巻き込む。

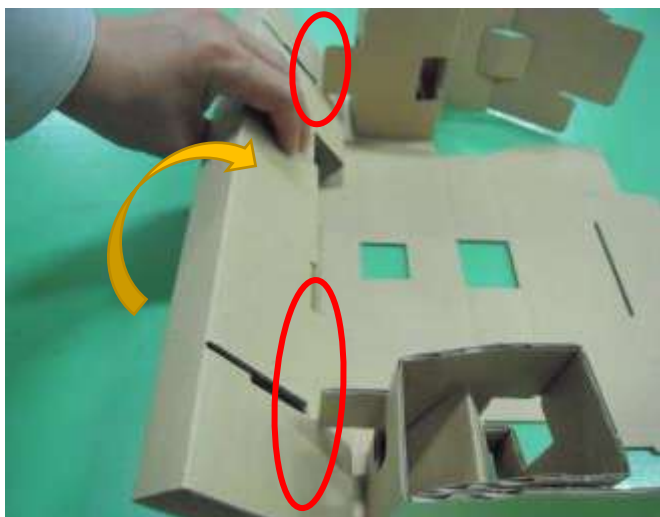
5. ○で囲んだ部分を折ります。



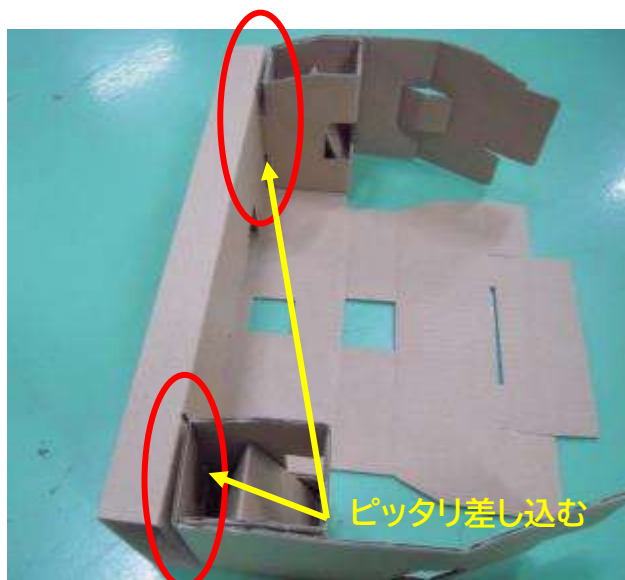
6. 中心部を点線部の野線に合わせ折ります。



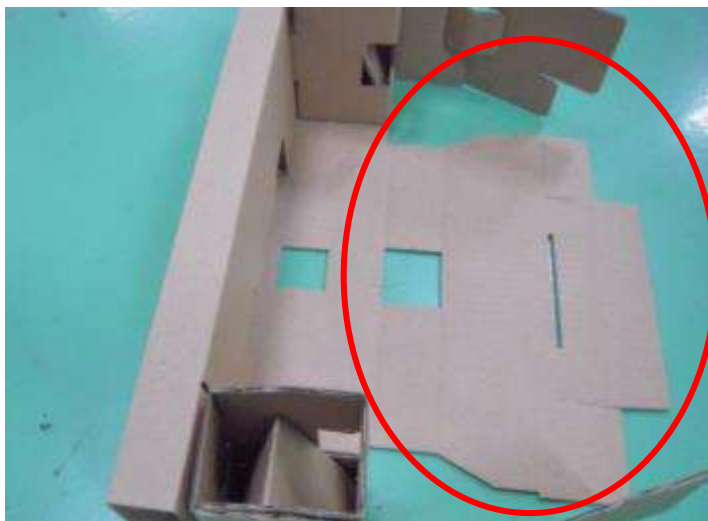
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。



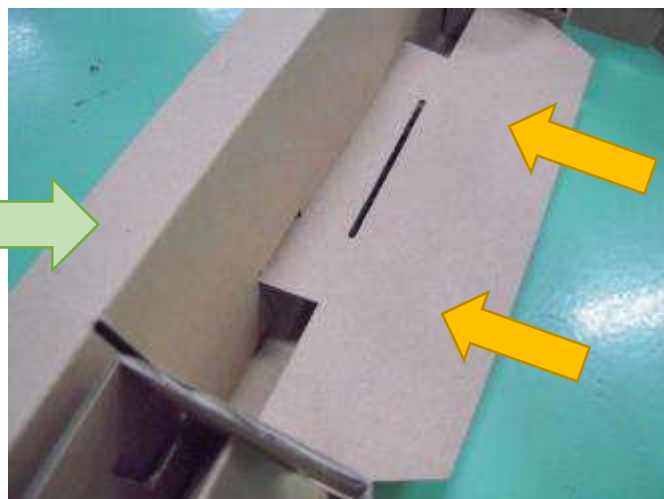
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折ります。



10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。



11. 全体を折り込み、本体にピッタリと押し込む。

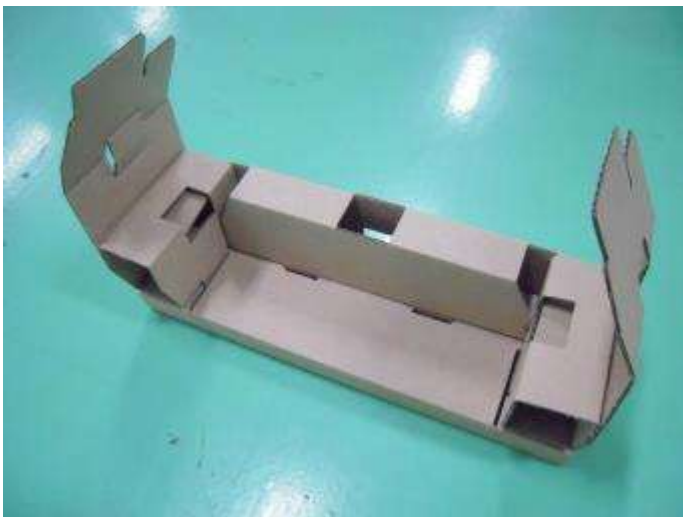


注意するポイント

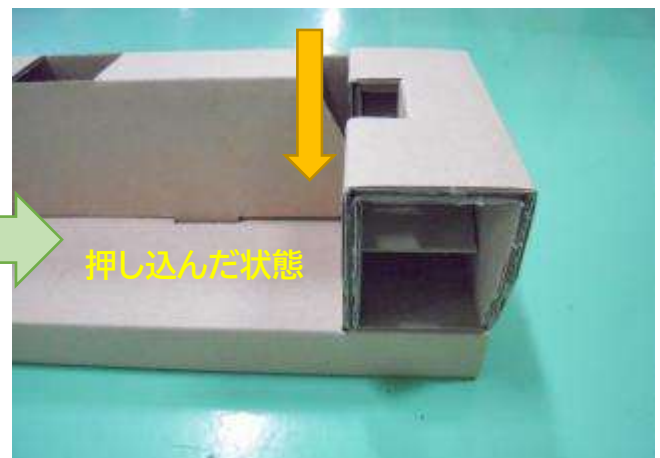
しっかり奥まで差し込めていないと出来上がりがゆがんでしまい、差し込んだところが破れてしまうので注意する。



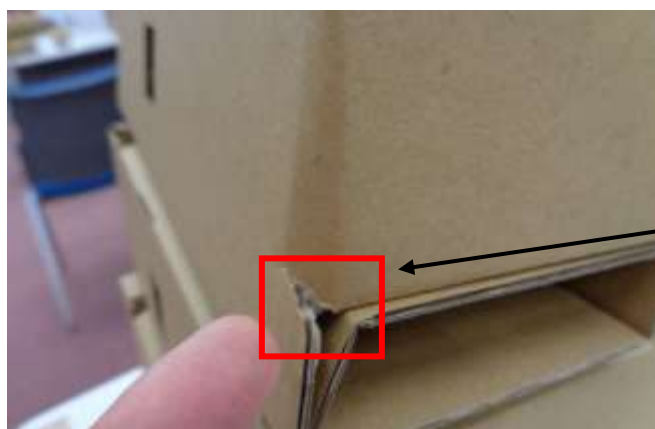
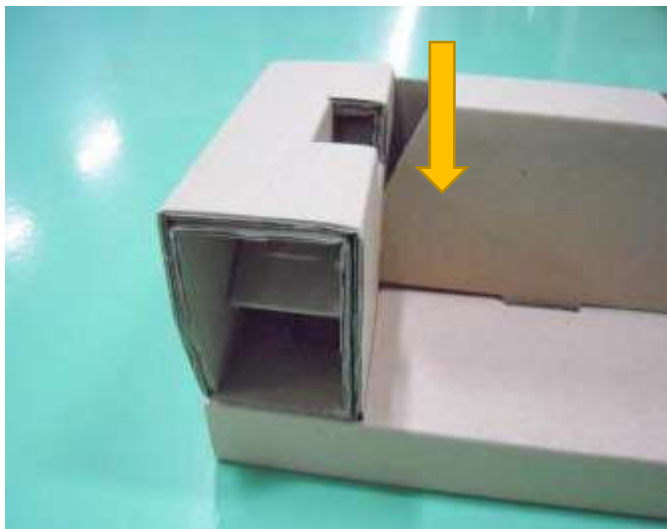
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



13. 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



注意するポイント

うまく折れていないと、端が破れてしまうので注意する。

15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。

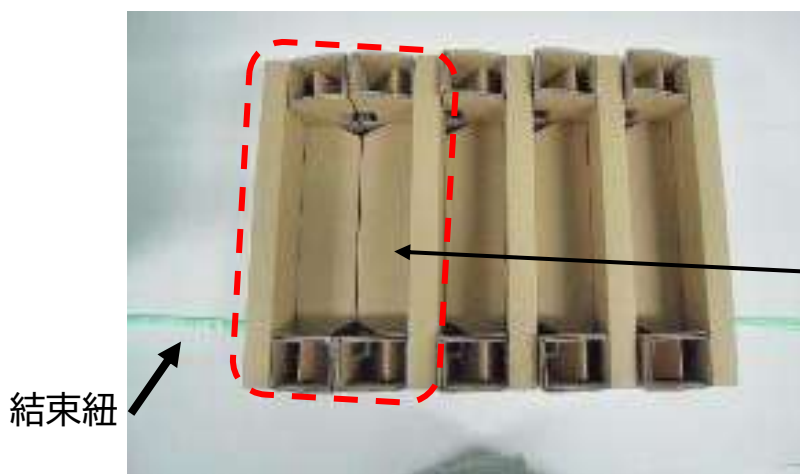
これを緩衝材 A と緩衝材 B それぞれ5個ずつ完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



17. 設置した結束紐の上に緩衝材5個を結束紐が端側位置(10cmほどの位置)にくるように置く。
置く際は○穴または□穴が下にくるように置く。



注意するポイント

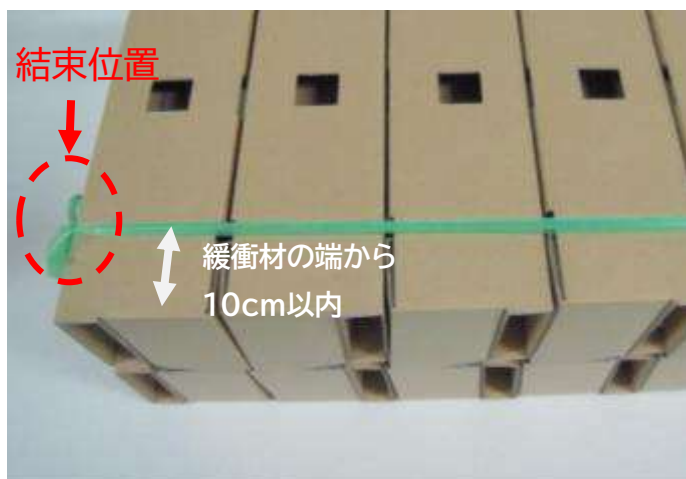
1組だけ向きが違うので注意

18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材(○穴が下であれば□穴、□穴が下であれば○穴)を5個、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で結束する。結んだ紐の端から端までを8cm以内とし、容易に解くことができる結び方とする。

結束後、紐を持ち上げたとき、緩衝材と紐の間隔が5cm以内となるようにする。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

【競技課題2】 ①小箱

小箱 展開図



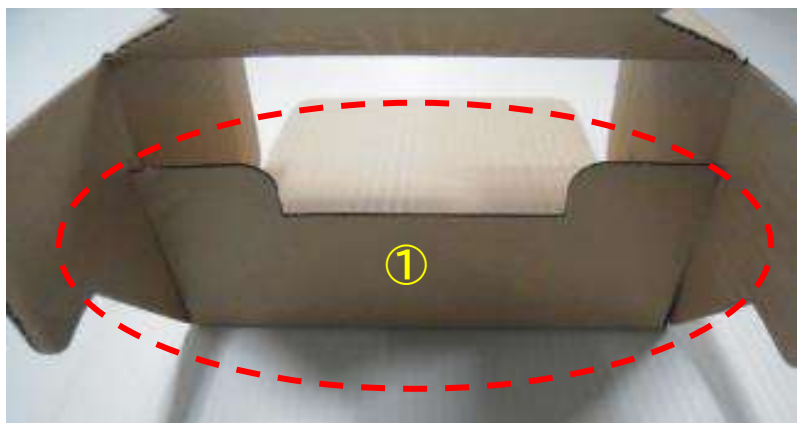
小箱 完成図



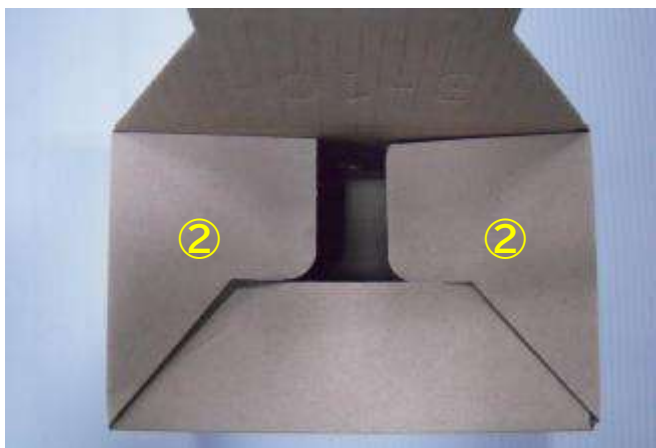
1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。



2. ①の底フラップを内側に折る。



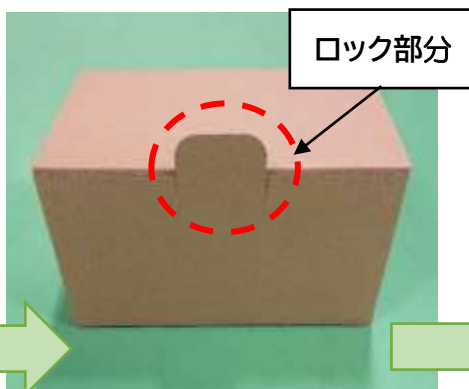
3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

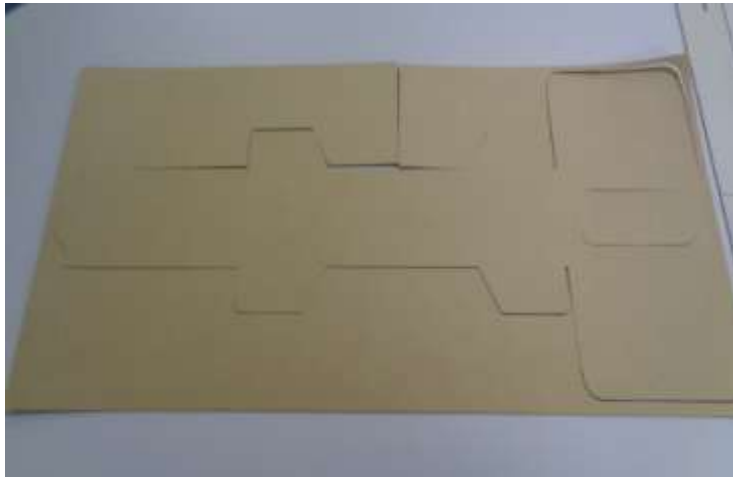


5. 底部を下にし、内フラップ2か所を内側に折り蓋をする。
最後にロック部分を蓋の中に入れて完成。



【競技課題2】 ②中箱

中箱 作業開始時点

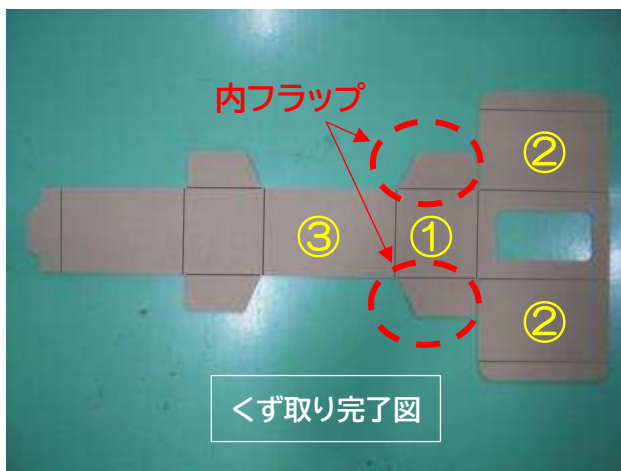


中箱 完成図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料は最初にくず取り作業が必要です。

1. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折りその後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



2. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、③の部分を下に向きを変える。



3. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の向きに注意する。



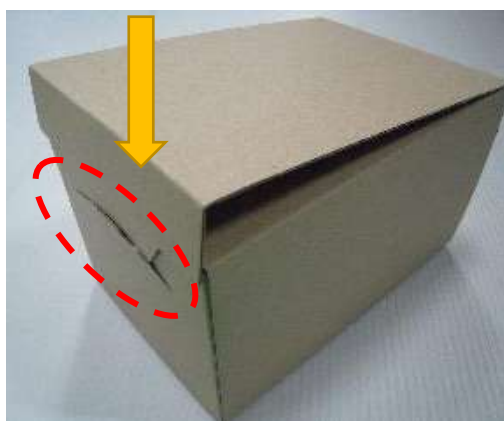
4. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に折り込む。



5. 中箱の天面を本体に向かって折る。



6. 最後に天面先端の差込部を本体の切れ込み部に挿入し完成。



【競技課題2】 ③化粧箱身

化粧箱身 作業開始時点



化粧箱身 完成図



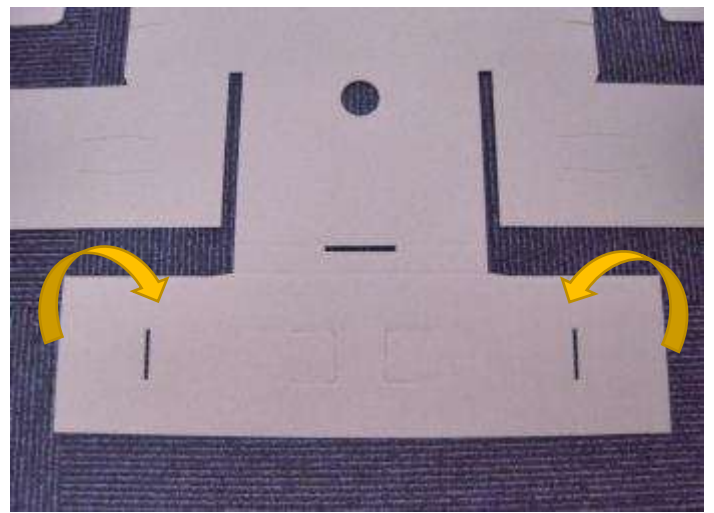
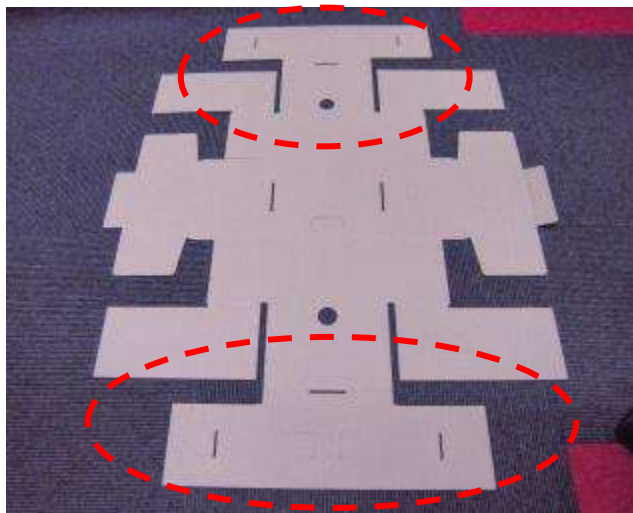
※白い面が表、罫線(折れ線)が見える方が裏面になります。

※競技材料はくず取り作業が必要です。

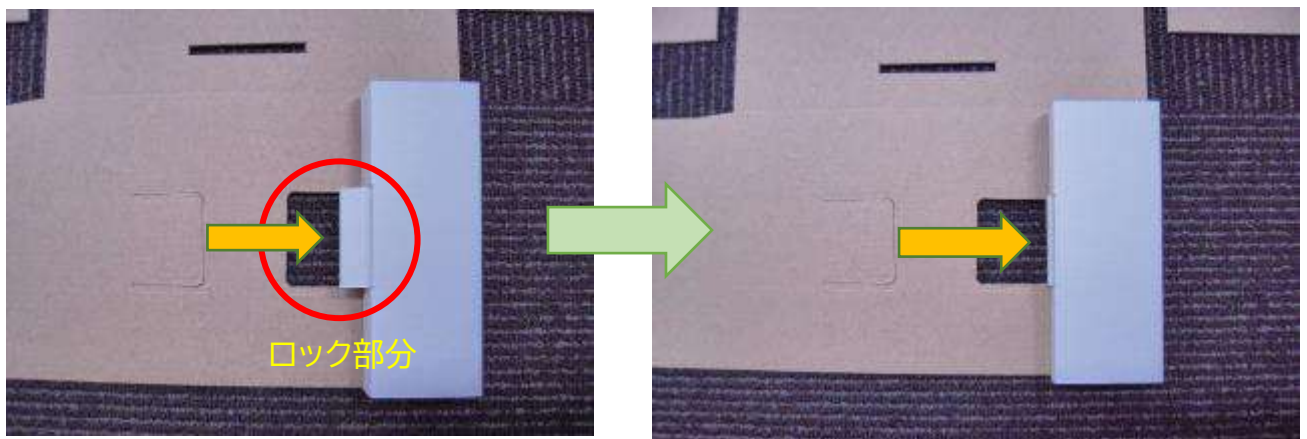
くず取り完了図



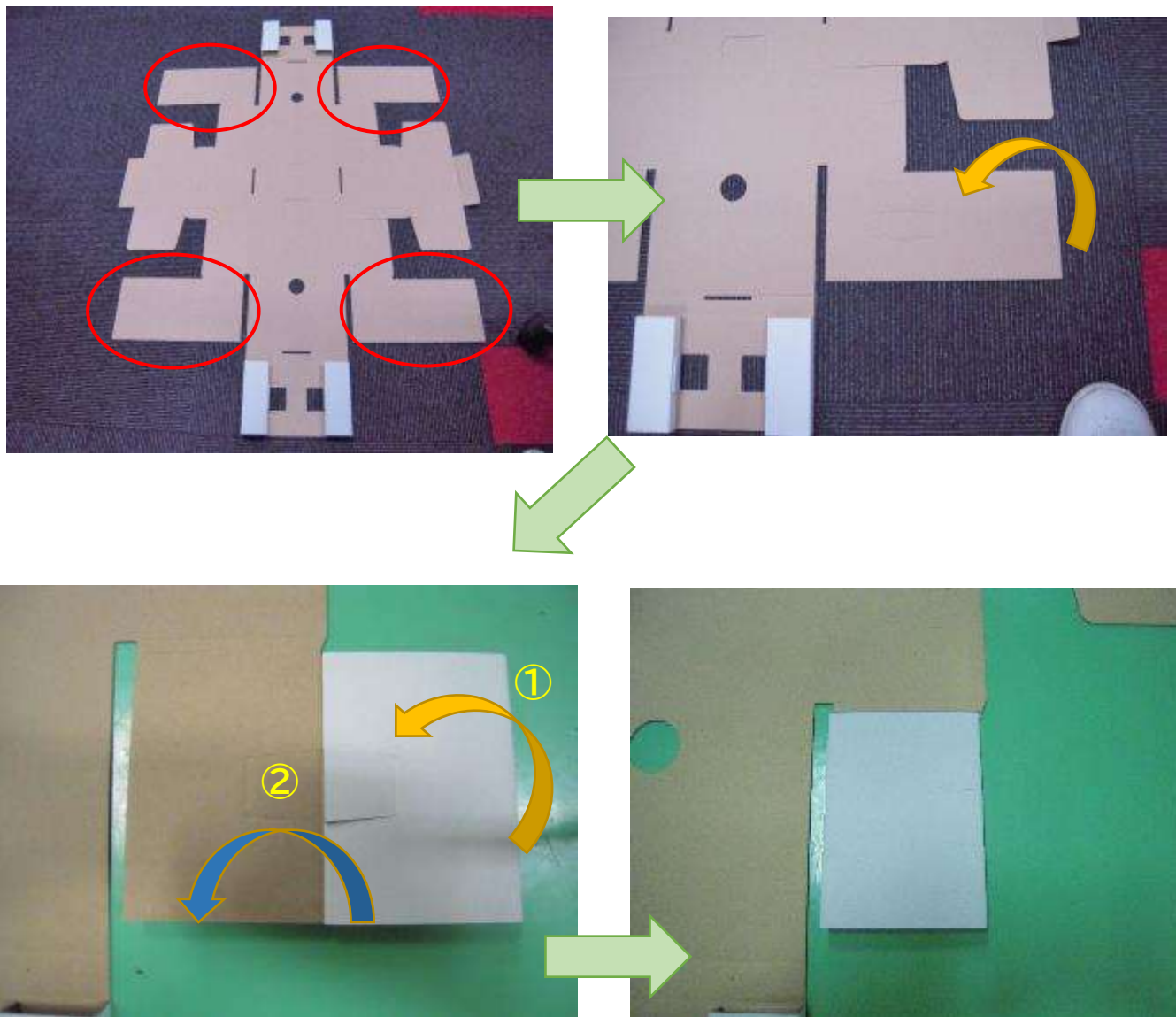
1. はじめに丸印の部分から折ります。端の部分を内側に巻くように罫線に合わせて折る。



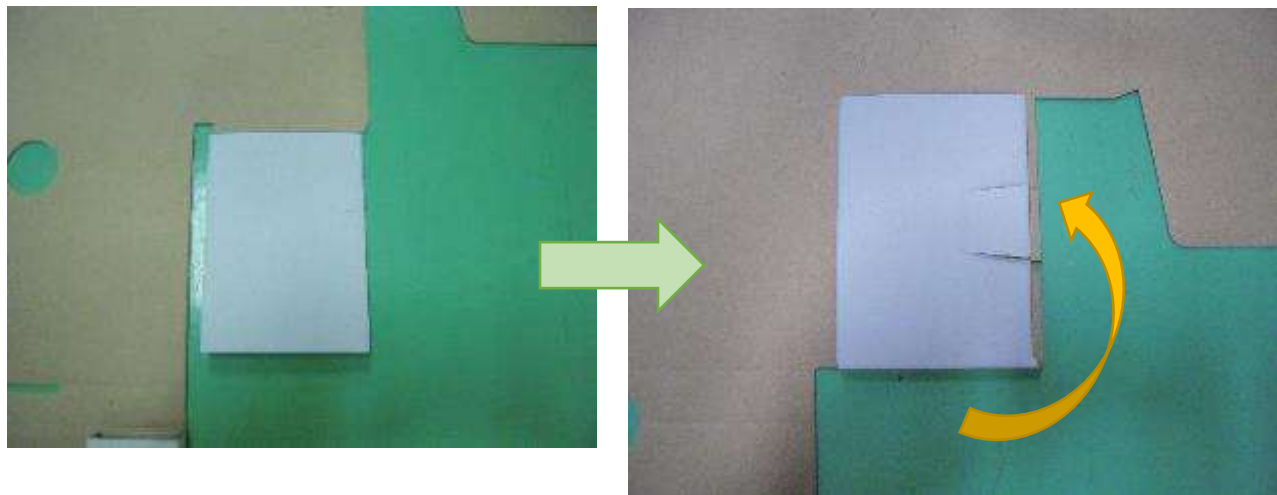
2. 折った部分の穴に、ロック部を下から立ち上げ差し込む。これを計 4 か所、同様に折る。



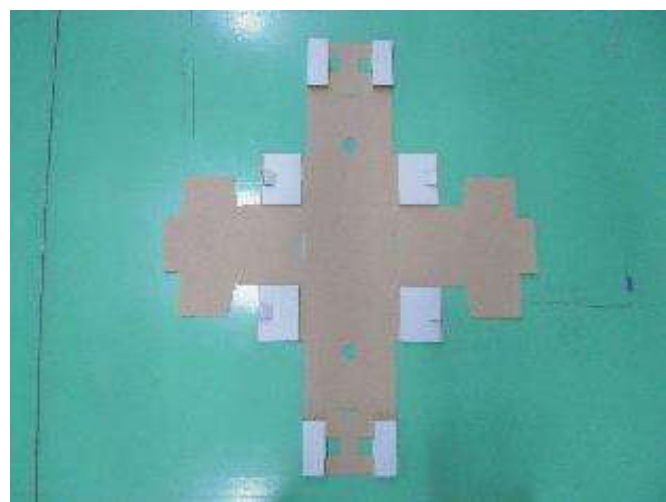
3. ○印の部分から端まで罫線に合わせて内側に折る。



4. 本体中心に向かって下から上に折る。

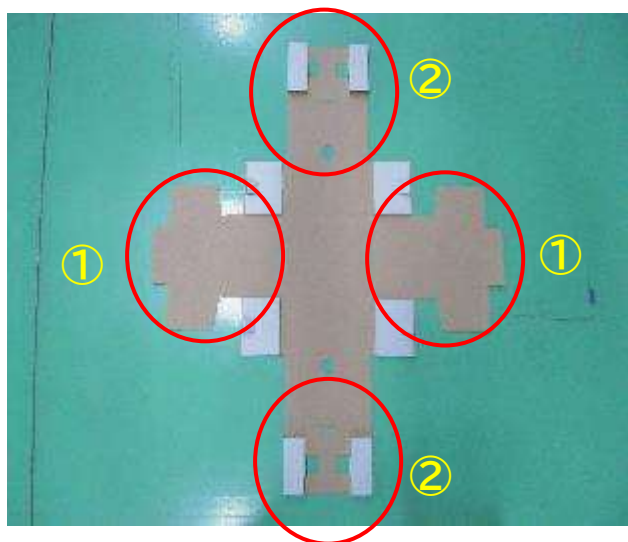


5. ロック部分を下から押し上げロックする。これを各部、計 4 か所同様に折る。

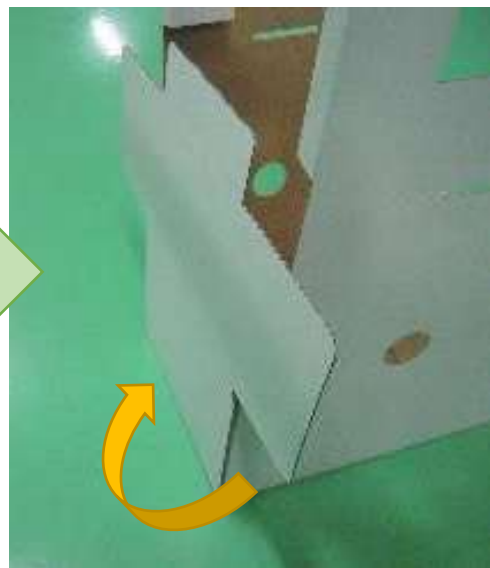


↑ 4 か所全て折った状態

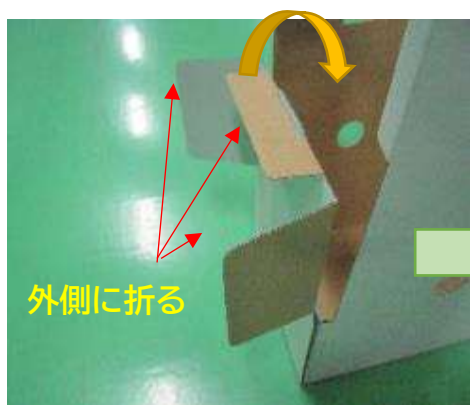
6. ②の部分を立ち上げる。



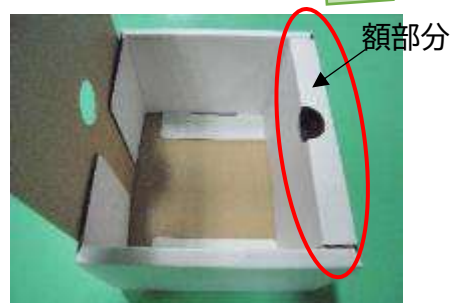
7. フラップ部分を内側に折り、①の部分を立ち上げる。



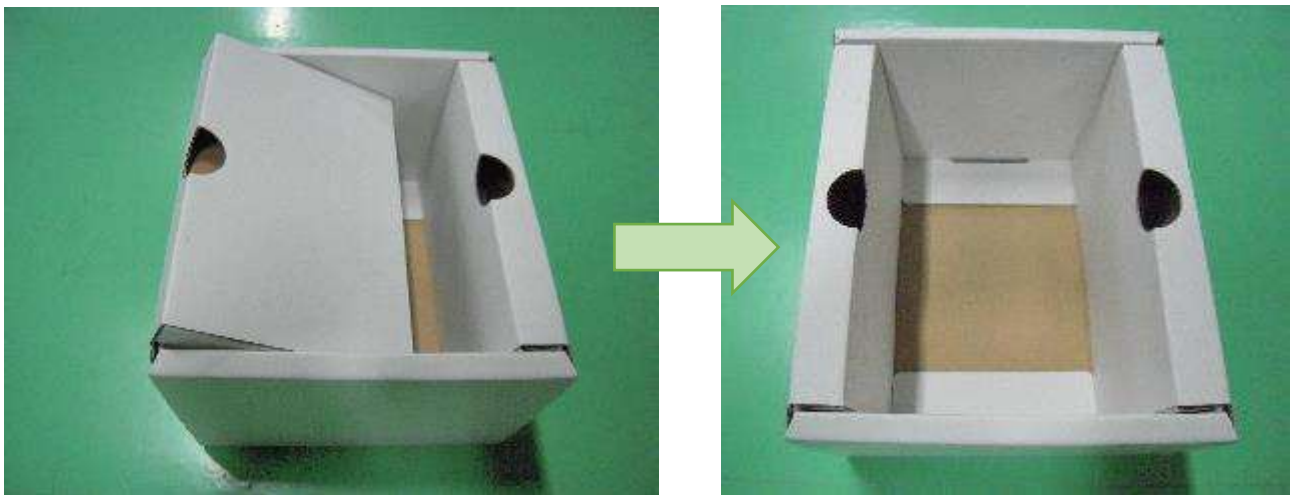
8. ①の部分の先端を外側に3か所折り、本体内側に折り込む。反対側も同様に折る。



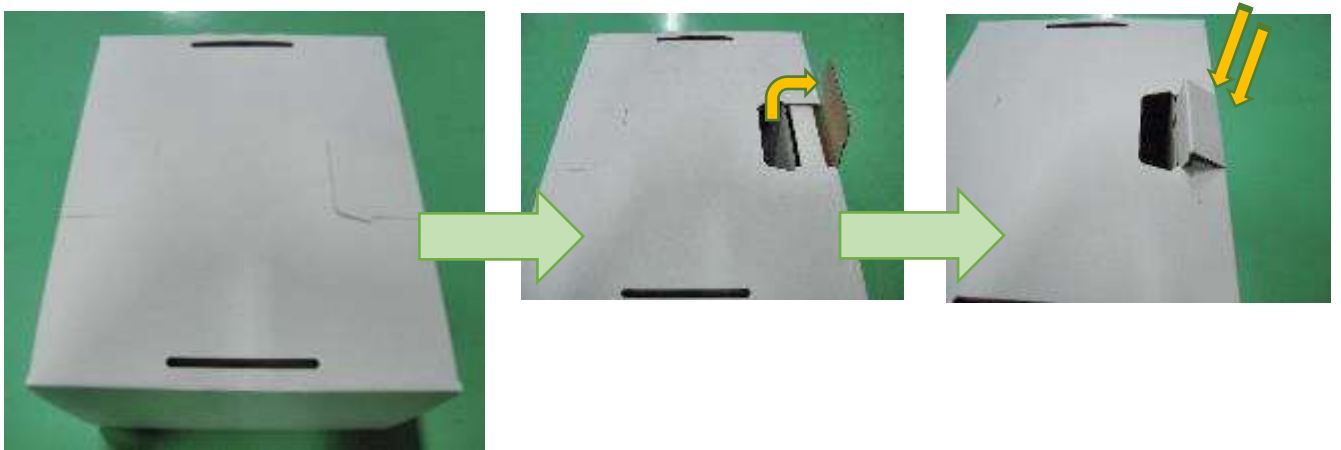
9. ②の端の部分から罫線に合わせ折り、額の部分が平らになるまで中に折り込む。



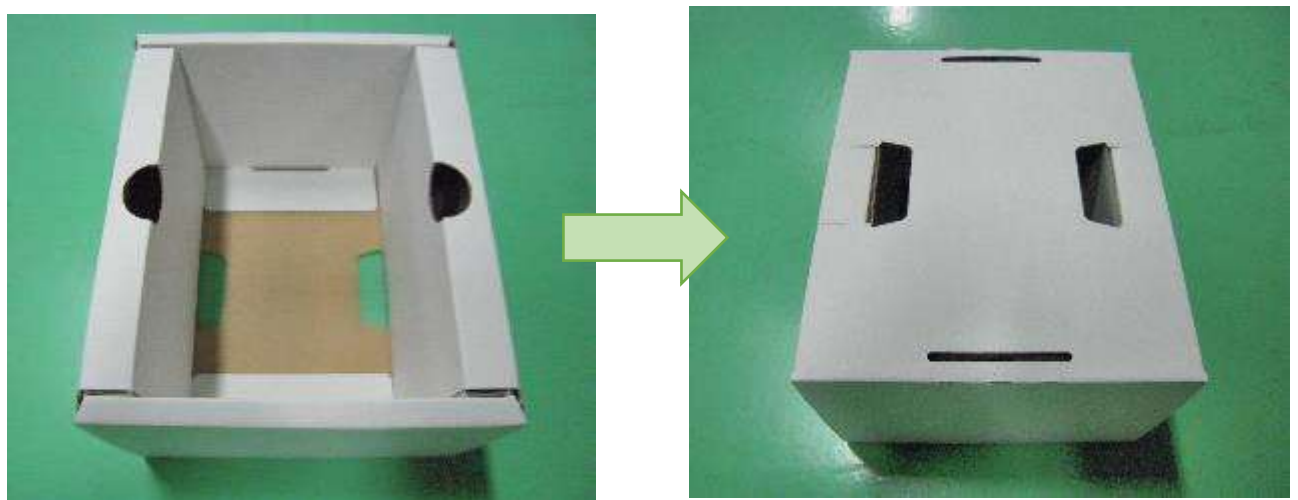
10. 反対側も同様に折る。



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から押し出し、穴に挿入する。反対側も同様に穴に挿入する。



12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に向きを変え完成。



【競技課題2】 ④化粧箱蓋

化粧箱蓋 作業開始時点



化粧箱蓋 完成図

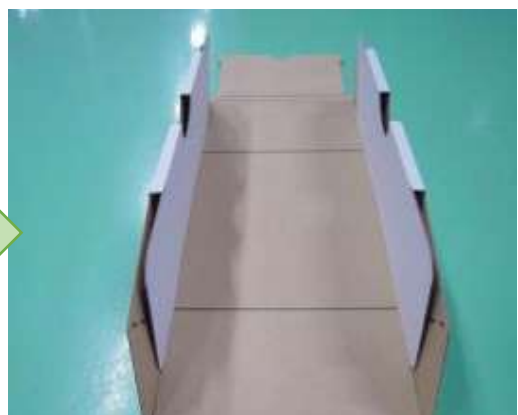
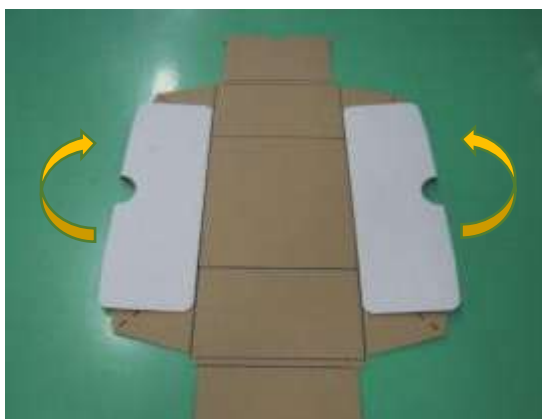


※白い面が表、罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はくず取り作業が必要です。

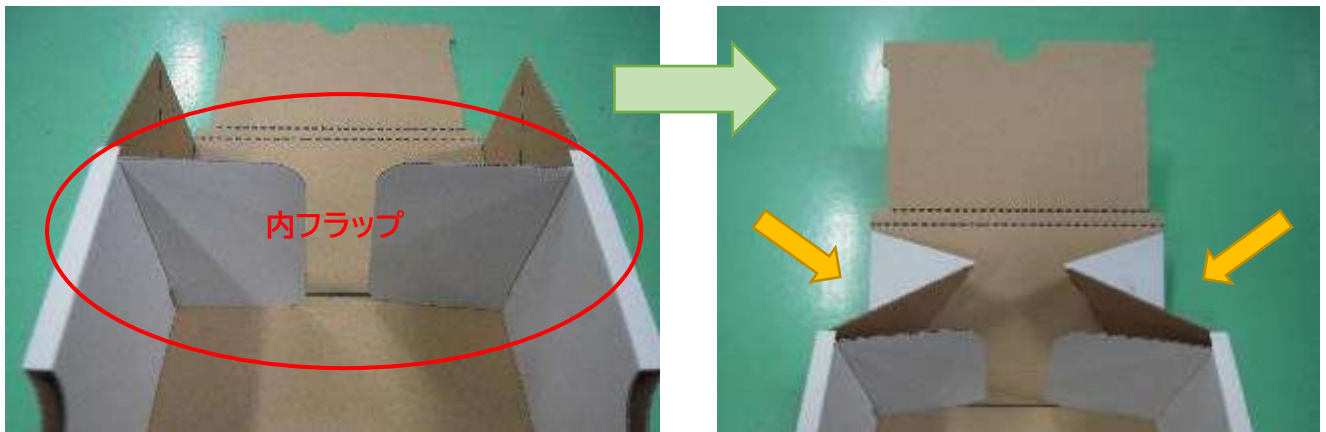
くず取り完了図



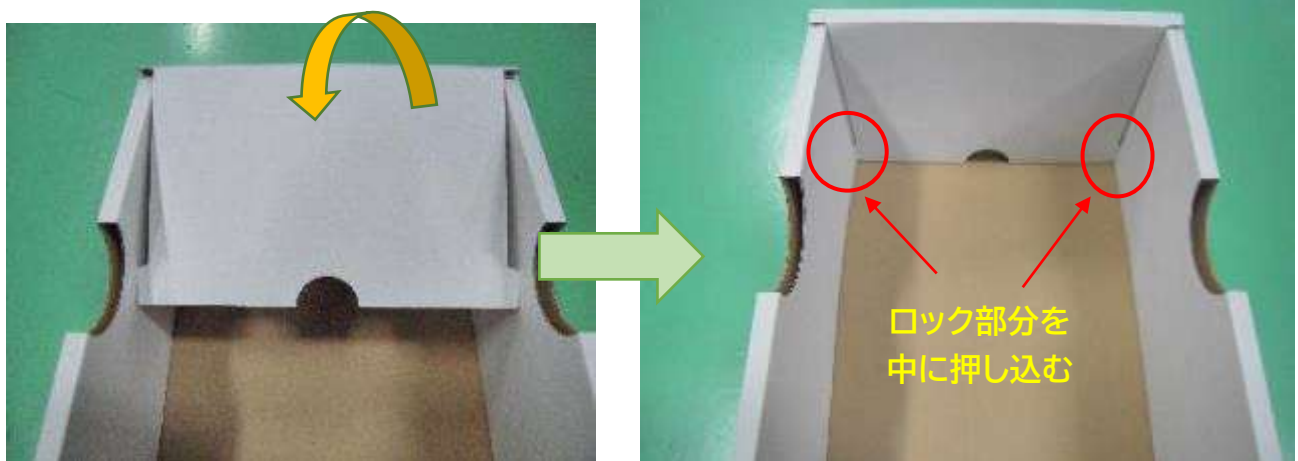
1. 額部分を内側に折り、額部分全体を立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。その後に、外側フラップのミシン目を内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を中に押し込む。



注意するポイント

ロック部分が中に入りきらずゆがんでしまっているものは減点となるので注意して押し込む。



4. 反対側も同様に折り完成。



【競技課題2】 ⑤外箱の組立・セットアップ梱包

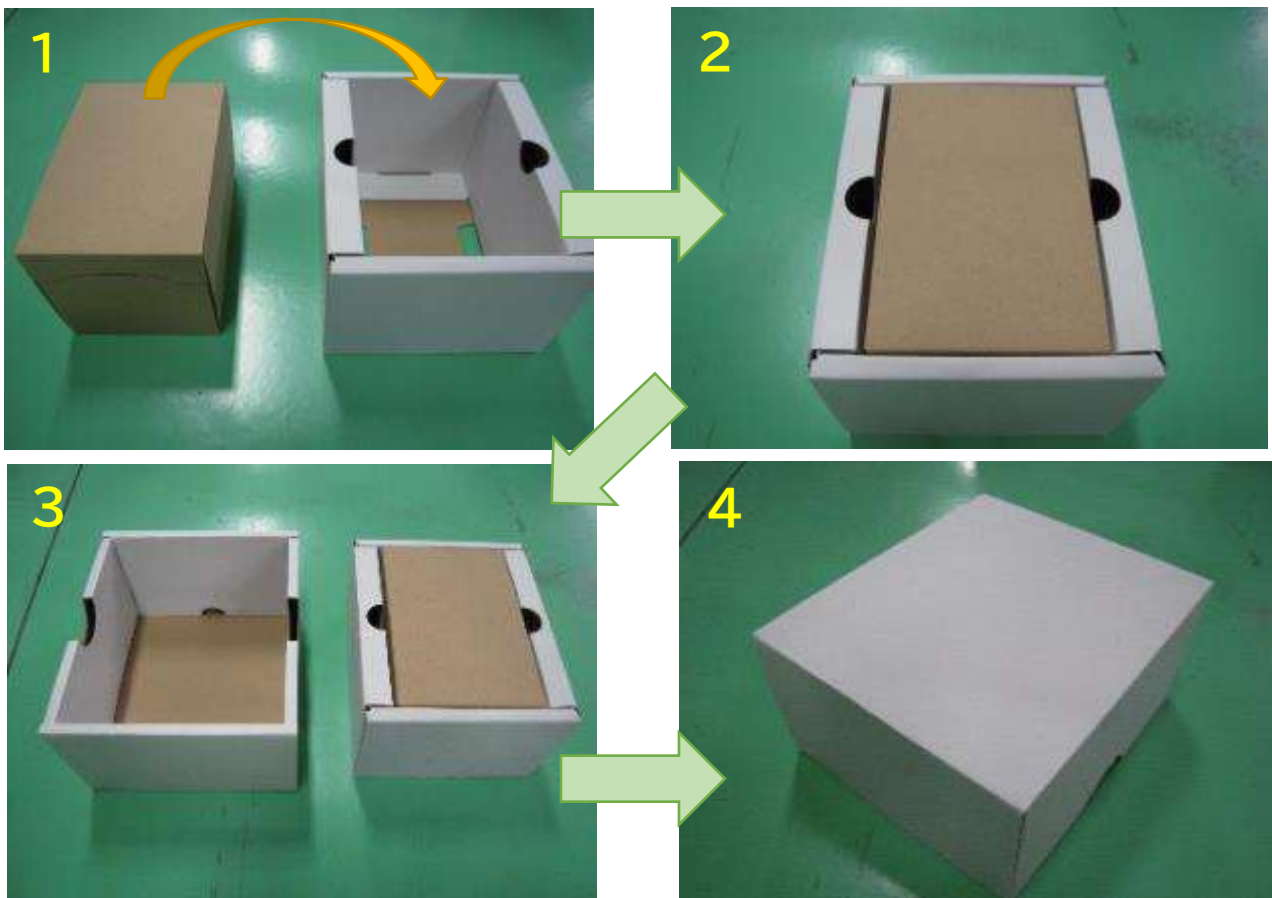
梱包部品一覧



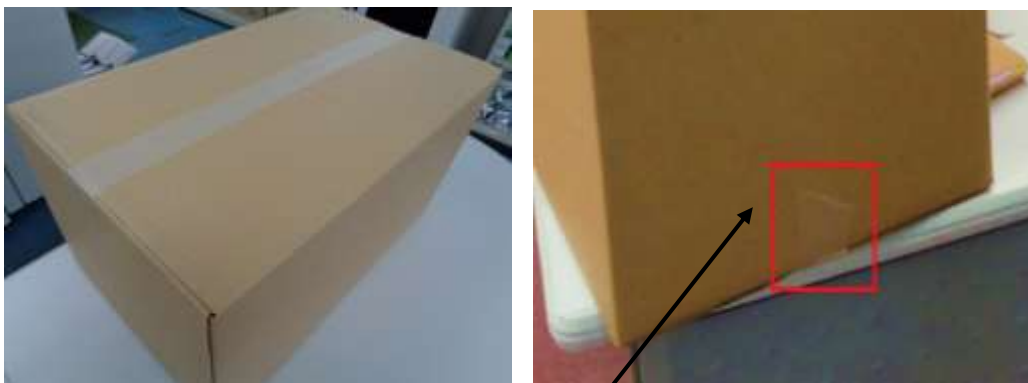
※外箱 1 個に対して必要な材料

1. 「化粧箱 身」に小箱が入った中箱を入れ、蓋をする。これを 4 個作成する。

※中箱の蓋が上にくるように「化粧箱 身」に入れる。



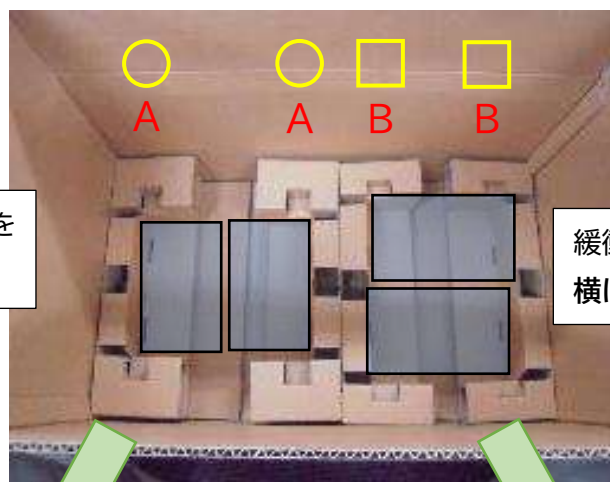
2. 外箱を作成し、下部(底)にテープを貼る。



注意するポイント

クラフトテープは手で切ると見栄えが悪くなり、減点対象となるためテープカッター又はハサミでまっすぐに切る。

3. 外箱に緩衝材を○穴及び□穴が化粧箱を入れたときに外側を向くように各2個ずつ設置し、化粧箱を入れる。



緩衝材 A 側(○穴)には化粧箱を縦に 2 個設置する。

緩衝材 B 側(□穴)には化粧箱を横に 2 個設置する。

縦に 2 個



横に 2 個



4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ上部に設置して完成。



注意するポイント

上部は折り目を付けますが、テープは貼りません！！

上部は開いたままで OK

向きがあっていれば、蓋はぴったり閉まります。

※ 3 箱分作成する。